

令和3年度第1回香川県環境審議会自然環境部会（書面開催）委員意見

	素案頁	意見
1	3	<p>農地などを含む「緑地」の定義にはほぼ合致しているが、内容のほとんどは森林が対象になっている。香川県は緑地に占める森林率が全国的に見て極めて低いことから、香川県における森林に係わる基本計画のあり方と目的をより明確にしても良いかと思う。</p> <p>また、緑地全般に関しては林業分野以外との連携も重要であるので、それに係わる記述も含めても良いかと思う。</p>
2	10	<p>基本目標や三大項目が抽象的で、香川県の地域特性（みどりや地理・産業などの特徴、および高齢化など）に基づいた問題設定や、他の自治体よりも特徴的な活動が含まれているのか、読み取りにくく感じる。「意見1」と関連づけて、より香川らしい目標や項目があると、県民の意識や注目を高めやすいのではないかと思う。</p>
3	24	<p>公園・緑地面積の指標について、自然公園を除外して、都市公園、港湾緑地に森林公園を加えたことはよいと思うが、面積の目標だけにとどまっている。公園・緑地の質的な向上についてはどのように実施し、評価するのか。</p> <p>「みどりの豊かさの満足度」も指標に挙げているが、これだけでは質的な問題を把握・評価することはできないと思う。</p>
4	35	<p>「緑化基準や緑化技術マニュアル等に基づき緑化に取り組んでいる市町数」を指標に挙げているが、もっと具体的に緑化指導・支援を行うべきである。</p>
5	36～40	<p>香川県は森林面積が小さく、産業としての林業も他県に比べて小規模であることから、県民の意識・活動資金などが残念ながら脆弱であると感じている。私は、それらに強い危機感も覚えているので、より具体的な計画や本質的な施策に期待する。同時に、それらの立場から、大学連携・研究基盤の充実、ボランティアの体系的・長期的な収集・育成、そしてボランティア頼みにならない行政・産業基盤の構築などを十分に表現していくことが必要だと思う。</p>
6	37	<p>どんぐり銀行については、臨時支店の増設によって新規預金者数は維持・増大しているが、コロナ禍の下で担当団体・担当者には大きな負担も生じている。また、香川県の地域特性（生物の遺伝的特徴など）に配慮したどんぐりの収集管理、苗木や里山林の育成などの発展性や深まりがないことへの疑問や批判が、かなり以前から私の耳には届いている。同様の厳しい現状は他の項目にも多々含まれていると思うが、「意見5」と同様に人材と資金源の確保・育成の新たな展開に期待する。</p>
7	44	<p>各政策展開に於ける目標値が右肩上がりにかかなり高めに設定されているが、頑張り過ぎではないかと心配している。進捗管理の中で、適宜見直しを行うとの事、よろしく願いたい。</p>
8	—	<p>各章に計画が目指すSDGsのゴールが示されているが、計画全体のゴールを追記してはどうか。</p> <p>また、県としてSDGsに取り組む姿勢が本文中からは読み取れず、各ゴール目標が突然記載されている感があるので、第1章辺りに少し加筆しても良いかもしれない。</p>